



一般財団法人 北海道農業近代化技術研究センター  
第48回 地域活性化推進事業

# 財団設立50周年記念講演会

講師 小泉武夫 農学博士

講演テーマ「農家所得倍増論」

と き:平成26年11月26日(水)

13:30~15:00

ところ:プラザホテル板倉  
(深川市3条6番7号)

主 催: 一般財団法人 北海道農業近代化技術研究センター

後 援: 空知総合振興局

深川市・滝川市・妹背牛町

JAきたそらち・JA北いぶき・JAたきかわ

水土里ネット:深川土地改良区・神竜土地改良区・空知土地改良区

## ▶▶ ごあいさつ

一般財団法人 北海道農業近代化技術研究センター  
理事長 細越 良一

本日は、「地域活性化推進事業」にご参加をいただき、誠にありがとうございます。

当財団におきましては、公益事業の一つとして、毎年、農業や食などをテーマに講演会やシンポジウムなどを開催しておりますが、お陰様をもちまして、今年で48回を迎えることができました。これも、ひとえに皆様のご支援・ご協力のたまものと、深く感謝申し上げます。

今年、多くのメディアにユニークな食文化論を展開されている発酵学の権威で、北海道名誉フードアドバイザーでもあります東京農業大学名誉教授 小泉武夫様を講師にお迎えし、「農家所得倍増論」をテーマにご講演をいただくことといたしました。

本日のご講演の中から、新たな農業経営のヒントとなるものをつかまえていただくことができれば幸いに存じます。

当財団も来年には、設立50周年を迎えます。昭和40年に地域の農業者の皆様によって設立されて以来、一貫して、地域農業の振興を図るため、食の安全・安心の基本となる土や水などの農村環境の保全や農業農村整備に関わる技術研究などに取り組んで参りました。しかしながら、TPP交渉への参加など、急激な国際化の進展の中で、農業を取り巻く情勢は厳しさを増していることから、今後は生産者と消費者が一体となって農業を守り育てる、そうした仕組みづくりにも積極的に取り組んで参りたいと考えております。

結びになりますが、今後とも、当財団の事業の推進に、一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶といたします。

## ▶▶ 次 第

### 開会

1 主催者挨拶 (一財) 北海道農業近代化技術研究センター  
理事長 細越 良一

2 来賓挨拶 空知総合振興局局長 山根 康徳 様

3 講師紹介

4 講演

### 閉会

# 農学者・食文化論者

## 小泉武夫(こいずみ たけお)



農学博士 専門は、発酵学、食品文化論、醸造学。  
昭和18年、福島県の酒造家に生まれる。

現在、東京農業大学名誉教授。  
鹿児島大学客員教授、琉球大学客員教授ほか。

北海道名誉フードアドバイザー(北海道)、  
食料・農業・農村政策審議会委員、  
全国地産地消推進協議会会長、  
食料自給率向上協議会会長(以上農水省)、  
全国発酵のまちづくりネットワーク協議会会長、  
など食、農業、発酵等にかかわる要職を歴任。

## 『農家所得倍増論』

農家所得を増やす方策のひとつとして、収穫した農産物をそのまま出荷するのではなく、それを加工し、そして販売まで行なう、いわゆる六次化農業が進められています。

小泉武夫先生は、この六次化農業を推進するための国の委員として、全国各地で実践指導にあたられております。

ご講演では、この六次化農業が農家所得を確実に増加させること、その成功例や失敗例を交えて講話されます。

また、農家が六次化農業によって新たにつくる農産加工品が、売れて成功するための「売れる商品六原則」が小泉先生の発想によって整理されましたので、これについてもご教授いただきます。



## ■■■ 財団事業のご紹介 ■■■

当財団は、昭和40年に石狩川の水質汚濁防止運動の所産として、深川市、滝川市、妹背牛町の農業者により設立されて以来、農業農村整備や農村環境保全に関する様々な調査研究を行ってきましたが、最近では、これらに加え、地元農産物のブランドイメージの確立に向けた直売市の開催や地産地消等に取り組む団体への助成などにも取り組んでいます。

### ■ アンテナショップ構想の推進

#### 北空知・中空知「新鮮農産物直売市」の開催

地域ブランド力を高めるため、深川・滝川・妹背牛の3市町の農産物及びこれらの加工品を販売する直売市を、財団の札幌支所NKエルムビル1階で昨年引き続き開催しました。

- ・北空知・中空知「新鮮農産物直売市」(7月、8月、10月、11月、計8日間)
- ・臨時北空知・中空知「新鮮農産物直売市」(9月、1日間)
- ・広島県土砂災害チャリティ・無人財団野菜市(9月、1日間)

#### 直売市スペースの貸出し

財団が直売市として利用しているスペースを、道内の市町村や農業者等が組織する団体にも、広く活用していただくため、無料で貸出しています。

今年度で開催された直売市は以下のとおりです。

- ・ふかがわ農産物フェア(3日間) ・蘭越町特産物品即売会(2日間)
- ・しんとつかわ農産物フェア(3日間)
- ・日高管内漁協女性部による海産物フェア(6日間)

なお、直売市スペースの有効活用のため、芸術・文化や地域コミュニティ活動など営利を目的としない団体・個人に低料金で貸し出しました(17日間)。

### ■ 首都圏での米の販売促進活動の推進

#### 東京高島平団地で新米ふっくりんこを配布

地域ブランドの知名度アップを図ることを目的に、東京都において、新米ふっくりんこのサンプル米を、昨年に続き配布しました。

### ■ 農業者の情報発信を支援

#### 農家看板設置事業

深川市、滝川市、妹背牛町に在住する農業者及び農業者グループを対象に、農家名や生産情報などを記載した看板設置に助成しています。

#### ホームページ作成事業

消費者との交流促進や農業情報発信のためのホームページ作成・管理を無料でを行っています。

### ■ 農村後継者の育成を支援

深川市、滝川市、妹背牛町にお住まいの認定農業者(配偶者を含む)及び農業後継者を対象に、海外農業研修への助成を行っています。

- ・方式:日本農業新聞が実施する海外農業研修視察団へ参加
- ・実施年月日:平成26年11月～平成27年2月(受付終了)
- ・内容:イタリア、アメリカ、オーストラリア、ヨーロッパの4コース



- 一般財団法人 北海道農業近代化技術研究センター
- 深川事務所 〒074-1271 深川市広里町4丁目1番3号  
TEL:0164-25-1591 FAX:0164-25-2117
- ホームページ <http://www.hamc.or.jp>